

熱エタノール脱色法

目的：

日光を受けた葉と早朝に採った葉を用いて、日光によるでんぷんのでき方を調べる。

方法：

熱エタノールを使って脱色する。

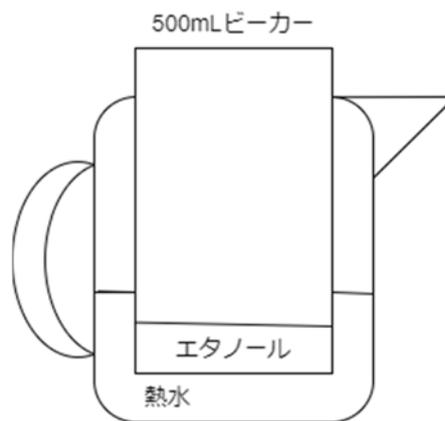
熱エタノールをつくるのに、

1. 熱水を発泡スチロールに入れ、予めエタノールを用いる方法
2. ホットプレートで湯を沸かしながら、熱エタノールをつくる方法
3. 改良した今回の方法

現状評価：

1, 2 の方法はエタノールの温度を高く保つことが難しい。冷めて脱色時間がかかったり、脱色不十分だったりする。またアルコールの入った容器を保持することが難しい。

そこで、電気ポット T-fal（ティファール）ケトルを用いると、簡単に脱色できる。勿論、他の電気ケトルでも可能だが、500mL ビーカーが程よく入ることが条件である。



方法 3：

熱水にエタノールの入ったビーカーが浮かぶ状態で、加熱をスイッチで調整できる。エタノールに沸石を入れることもあるが、新しい葉を加えると、突沸を避けられる。葉が小さいと 5 分ほどで脱色できる。取り出す時、葉が壊れやすいのでピンセットで葉柄をつかむと容易にできます。取り出した葉は水の中に入れると柔らかくなります。